

## 4 . 「水道事業の現状と課題」

### (1)〔上水道事業の現状〕

#### 村上地区

村上地区の上水道事業は、昭和37年2月に通水を開始しました。その後、拡張工事を重ね、現在は「災害時12時間貯水」を目指し平成13年より第4次拡張事業を実施しております。現在第一水源地に浄水池を築造しており、平成22年4月に一部稼働を目指し工事中です。

浄水池が完成すれば、浦田配水池、愛宕山配水池と3箇所が災害時に給水車がいれる給水拠点となります。また、今後は第二水源の築造を行い(平成27年度頃を目途に)井戸の分散化を図り、災害や事故に強い施設を目指します。老朽管の更新についても、石綿管を中心に進めており、公共下水道の事業に併せての更新も同時に行っています。

### 〔水源・配水施設〕



左の写真は、平成15年に「災害時12時間貯水」を目指し、PC構造の配水池として愛宕山に建設したものです。

この他に、上水道施設としては、村上水源地(S37)、八幡山配水池(S37)、山居山配水池(S48)、浦田山配水池(S60)があります。

経年変化によるクラック等があり、修繕や更新の見極めが必要とされます。



「瀬波着水井」



「村上水源地」1号井